

感染症ニュース！

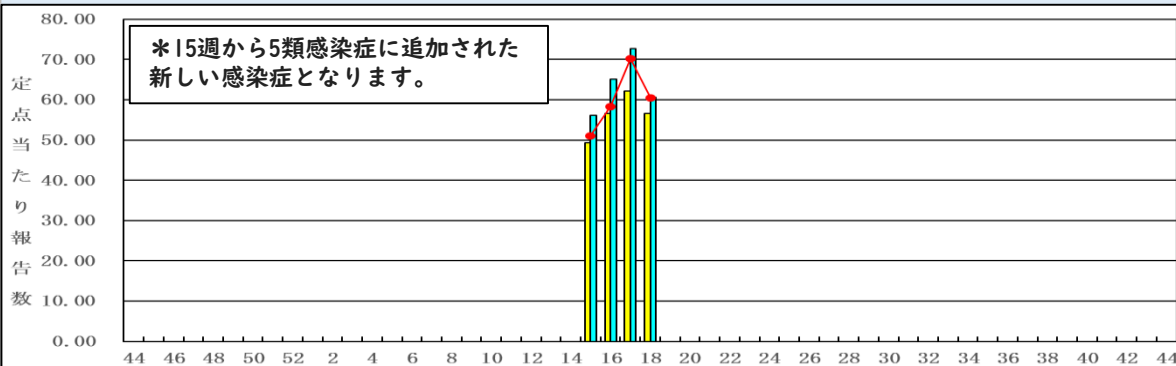
令和7年5月号

前月の神奈川県内の発生動向および国内外で気になる感染症を掲載しております。

★ 4月の注目感染症

① 急性呼吸器感染症

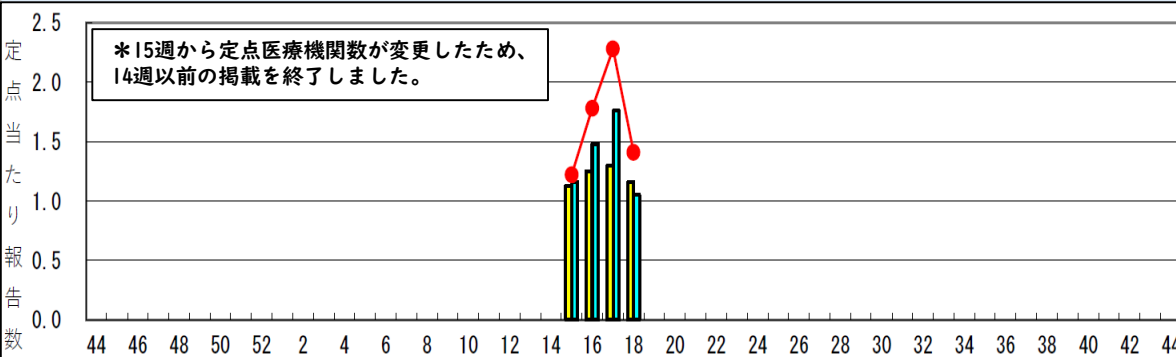
*県域とは、神奈川県内の市町村のうち横浜市、川崎市、相模原市を除いた地域です。



4月は、**1-4歳**を中心に報告がありました。特に定点当たり報告数が多い地域は、
①厚木保健福祉事務所大和センター管内
②平塚保健福祉事務所秦野センター管内
③茅ヶ崎市
でした。

週

② 伝染性紅斑

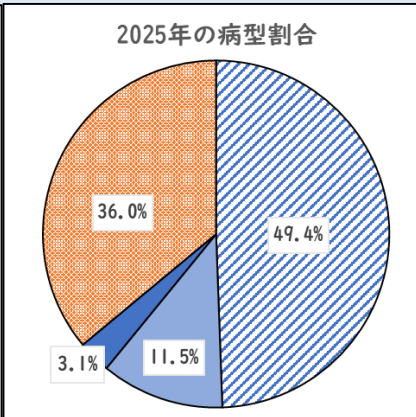
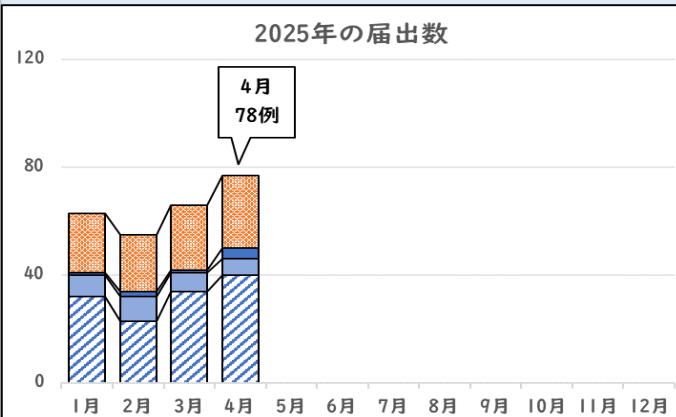


4月は、**5歳**を中心に報告がありました。特に定点当たり報告数が多い地域は、
①藤沢市
②茅ヶ崎市
③小田原保健福祉事務所管内
でした。

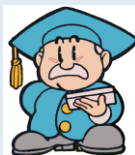
週

★ 結核の発生動向（5月1日時点）

肺結核 肺外結核 肺結核+肺外結核 無症状病原体保有者



4月の届出数は**78例**でした。
2025年の累計患者数は**261例**となりました。
(疑似症患者1例を除きます。)



衛生
博士

★ 国内・海外で気になる感染症をご紹介します

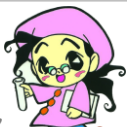
・全国で**麻疹**の報告が増えている。JIHSによると、第16週時点で関東及び関西を中心に累計83例が報告されている。国内感染が疑われる事例も増えており、海外からのウイルスの持込が増えていることが予想される。現在大阪・関西万博が開催されており、インバウンドの需要も高まっている中、今一度予防接種歴を確認して平時から備えておくことが大切である。

(出典：国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト「麻疹 発生動向調査」

<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/measlesdoko.html> 令和7年5月2日利用)

・全国で**百日咳**の報告が急増している。JIHSによると、第16週の報告数は1,884例で累計9,336例となり、昨年の累計4,054例を現時点で大きく上回っている。海外では、百日咳の対症療法として通常使われる抗菌薬への耐性菌の出現が話題になっており、日本でも増加している可能性がある。症状がある時はマスク着用等の咳エチケットが必要である。(出典：国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト「IDWR速報 2025年」 <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/rapid/2025/index.html> 令和7年5月2日利用)

衛生
ちゃん



神奈川県衛生研究所 感染症情報センター が作成しました。

お問合せはこちらまで↓

TEL:0467-83-4400(代表) FAX:0467-89-5211(企画情報部)



感染症情報
センターHP